

こまき市民討議会
まちづくりミーティング
2017
I♥こまき We♥こまき

- 実施報告書 -

平成 29 年 12 月

一般社団法人小牧青年会議所
小 牧 市

1 はじめに	1
2 事業概要	2
(1)報告書	
(2)市民討議会とは	
(3)こまき市民討議会の開催経緯	
(4)開催までの流れ	
(5)開催の概要	
3 話し合いの進め方	5
(1)前回からの主な変更点	
(2)具体的な進め方	
(3)情報提供	
4 話し合いの結果(テーマ1)	8
(1)話し合いの概要	
(2)投票結果	
5 話し合いの結果(テーマ2)	17
(1)話し合いの概要	
(2)投票結果	
6 意見のまとめ・取扱いについて	26
7 今回の反省と今後への課題	27
(1)無作為抽出による参加者募集について	
(2)「楽しい市民討議会」の手法について	
(3)謝礼について	
(4)運営体制について	
(5)今後の市民討議会のあり方について	
8 こまき市民討議会を終えて	31
9 会場の様子	34
 ➤ アンケート集計結果	 37
 ➤ 資 料 編	 60

1 はじめに

2012 年から開催されている「こまき市民討議会 まちづくりミーティング」も今回で 6 回目を迎えることが出来ました。これも 2012 年から今までこの市民討議会に関わっていただきました小牧市協働推進課並びに実行委員としてご協力いただきました皆様のご理解とご協力のおかげで開催できたと感じております。

さて、こまき市民討議会まちづくりミーティングは、まちづくりへの市民参加の機会を増やし、自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治意識の向上を図ることで、普段は行政やまちづくりに対して声を上げる機会の少ない皆様にまちづくりを身近に感じてもらい、まちづくりや市政について関心を高めるきっかけとなっていると感じております。

本年度は地域とのつながりが希薄化している若者を取り込み活躍してもらうにはどうしたらよいかを若者目線に立って考えていただき、また世代間交流がどうしたら行えるかイベント企画などを通じて討議をしていただきました。

また今回は住民自治意識の深掘りのため、去年まで市民スタッフとして参加していただいた市民の方を中心に実行委員会を立ち上げ、準備・企画から当日の運営までご協力いただきました。そういった方々にはぜひ今後も市民討議会の自立した運営に携わっていただけたらと思います。

今回、こまき市民討議会まちづくりミーティング 2017 が無事に開催できましたのは、多くの実行委員の皆様、一緒に会の成功を願いご協力いただきました小牧市協働推進課の皆様のおかげであります。そして、何よりこの市民討議会にご参加いただきました市民の皆様に厚く感謝申し上げます。

一般社団法人小牧青年会議所
グローバルマインド共育委員会

2 事業概要

(1) 報告書

本報告書は、一般社団法人小牧青年会議所と小牧市が締結した「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2017 の実施に関する協定書」に基づき、こまき市民討議会の内容及びその手法について、一般社団法人小牧青年会議所がまとめたものです。

(2) 市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている市民参加の手法「プラーメンクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ生かす新しい市民参加の手法です。

これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティー＝「物言わぬ大勢」と言われる市民の参加を促し、その「声なき声」をまちづくりに反映させる手法として活用されています。

こまき市民討議会ではこの手法をもとに、無作為抽出で選ばれた市民が、地域の課題・解決策について話し合ってもらい、まちづくりに参画するきっかけとなることを目的としています。

今回の市民討議会の特徴

- ・参加者は 18 歳以上の小牧市民から無作為抽出で選びます。
- ・参加者には謝礼を支払います。
⇒普段まちづくりに関心のない市民の参加を促します。
- ・市役所、一般社団法人小牧青年会議所より討議前に情報提供をします。
⇒課題に対する個々の知識の差を補完し、話し合いを円滑にします。
- ・グループで討議した結果に対し、全員が投票をします。

(3) こまき市民討議会の開催経緯

こまき市民討議会は、市民がまちづくりに参加する新しい試みとして小牧青年会議所が市へ企画提案したもので、市民がまちづくりについてお互いに課題を共有し、自分たちに何ができるかを話し合うことでまちづくりに関心を持っていただくことを目的とし、平成 24 年度に市との協働によって第 1 回が開催されました。

(4)開催までの流れ

◆平成 29 年 4 月 19 日 協定締結式

開催に向け、小牧青年会議所と小牧市において「こまき市民討議会まちづくりミーティング 2017 の実施に関する協定」を締結しました。

この協定は、市民討議会の実施について両者の関係や役割分担、相互協力の内容を定めたものです。

◆平成 29 年 8 月 30 日 参加案内発送

小牧市において無作為に抽出した 18 歳以上の市民 2,000 人に参加案内を発送し、ご参加いただけるよう呼びかけました。

その結果、定員 40 人に対し 47 人の方から参加承諾をいただくことができました。

◆平成 29 年 10 月 5 日 参加決定通知書発送

抽選によって参加者 40 人を決定し、「参加決定通知書」を発送しました。

その後の辞退者もあり、当日は 34 人の参加となりました。

(5)開催の概要

ア 日時

平成 29 年 10 月 29 日(日) 9:30～16:00

イ 会場

小牧市公民館 講堂（小牧市小牧二丁目 107 番地）

ウ タイムスケジュール

9:00～9:30	受付
9:30～9:45	開会宣言・理事長挨拶・市長挨拶・趣旨説明等
9:45～12:00	アイスブレイク・情報提供・自己紹介・討議・発表・ 投票・投票結果発表(テーマ1)
12:00～13:00	昼食
13:00～15:25	自己紹介・アイスブレイク・情報提供・討議・発表・ 投票・投票結果発表(テーマ2)
15:25～15:30	委員長総括
15:30～15:40	アンケート記入
15:40～15:55	参加者の感想
15:55～16:00	お礼の言葉・閉会宣言
16:00	写真撮影・解散

エ 討議テーマ

「I♥こまき We♥こまき」

討議テーマ1「若者が住みたいまち小牧」

討議テーマ2「世代間のつながりを持つには」

オ 謝礼

2,784 円（手取額 2,500 円 源泉徴収税額 284 円）

カ 運営体制

主催 一般社団法人小牧青年会議所・小牧市

協力 こまき市民討議会実行委員会の皆様

本年度「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、昨年度の市民討議会の参加者と昨年度市民スタッフとしてお手伝いいただいた方々から募集を行い、14 人の方にご協力をいただきました。5 月より毎月 1 回実行委員会を開催し、討議テーマの選定、アイスブレイク、進行の方法等様々なご意見をいただきました。

また、討議会当日のメインファシリテーター、司会、テーブルファシリテーターを行っていただき、企画から運営まで積極的に自主性を持ってご協力いただきました。

メインファシリテーター

討議1「若者が住みたいまち小牧」

メイン1 清水香織さん（実行委員）

メイン2 深山麻衣さん（実行委員）

討議2「世代間のつながりを持つには」

メイン1 深山麻衣さん（実行委員）

メイン2 清水香織さん（実行委員）

総合司会 高橋真紀さん（実行委員）

➤ テーブルファシリテーター（市民スタッフ（配置についてはP 6 参照））

3 話し合いの進め方

(1) 前回からの主な変更点

本年度は昨年の参加者と市民スタッフの方々と「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ企画から運営まで携わっていただき、当日は非常に良い雰囲気で行えたと感じております。

また、小牧クイズと題し、日ごろ住み暮らす小牧に関する問題をグループごとに解答していただき、おおいに盛り上がり、参加者の硬かった雰囲気もすっかり打ち解けていました。

そして、昨年度同様、お菓子や飲み物を用意し、硬くなりがちな討議を和やかな雰囲気で行進ができるよう会場設営を行いました。

実行委員と共に、常に会場の雰囲気に気を配り、テーブル内での意見が多く出ることで、積極的な実りある討議を行っていただけるように心掛け、運営いたしました。



◆会場の飾り付けとスタッフの服装

開催日が10月29日でハロウィン間近であったため、昨年同様会場はハロウィンの装飾をしました。他にも実行委員の方々に自作していただいた飾りつけなどを活用し会場の雰囲気づくりに努めました。

また、メイン、サブファシリテーターと司会の方には仮装を、テーブルファシリテーターは全員お揃いのハロウィンTシャツを着ていただき、参加者が緊張しない雰囲気づくりができました。

本年度は装飾、服装に関しても実行委員の方々の意見を取り入れることができ、より市民がつくる市民討議会の一步を踏み出せたと感じています。



◆お菓子と飲み物をつまみながら

リラックスして話しができるようにたくさんのお菓子と飲み物を用意し、自由につまみながら話し合いをしていただきました。

◆スタッフの配置

会場全体の進行役として司会者を1名、討議会参加者の意見を引き出す支援者としてメイン、サブファシリテーター各1名、また、テーブルファシリテーターとして各グループに1名ずつ配置し、和やかな雰囲気での話し合いができるよう工夫し、実行委員の方々に担当していただきました。



◆アイスブレイク

討議を円滑に進めていくため、アイスブレイクを行いました。

午前はお小牧クイズと題し、日ごろ住み暮らす小牧についての問題を5問出題し、チームごとに話し合い解答していただきました。午後は昼食後の眠気を覚ます意味も含め、身体を使った人間じゃんけんを行いました。午前午後とも用意した優勝賞品目指し、大いに盛り上がりました。

(2)具体的な進め方

ア グループのメンバー

ひとつのテーブルに、一般参加者5人程度に加え、テーブルファシリテーター1人と小牧青年会議所メンバー3人程度を割り振りました。

また、テーマごとに午前・午後でテーマとメンバーを入れ替え、新鮮な気持ちで話し合いに参加していただきました。

イ 話し合いの進め方

テーマに沿って、自分の意見をできるだけ多くふせんに書き出し、それを大きな模造紙に貼っていきました。

書き出された意見をもとに、話し合いを通して意見をグルーピングしていき、合意形成を図りました。

ウ 発表

グループの話し合いの結果を、決められた時間で発表して頂きました。

エ 投票

各グループの意見に全員で投票を行い、得票数に応じて順位を決めました。

(3)情報提供

各テーマについて

テーマ1：若者が住みたいまち小牧

情報提供者：小牧市市長公室秘書政策課 安藤市政戦略係長

小牧市地域ブランド調査結果を用いて、市民が持つ小牧市のイメージや、10代～30代、40代～60代のそれぞれの意識の傾向について説明していただきました。

テーマ2：世代間のつながりを持つには

情報提供者：一般社団法人小牧青年会議所 グローカルマインド共育委員会

世代間のつながりを持つことの重要性、必要性を説明し、豊田市での地域産業を活かした世代間交流事業の事例紹介を行いました。

4 話し合いの結果（テーマ1）

テーマ1：若者が住みたいまち小牧

テーマ1では、どうすれば小牧市が若者が住みたいまちになるかを討議していただきました。

（1）話し合いの概要

MRJグループ	キング、なっちゃん、クニオ、りん、奥ちゃん、サトちゃん、 ワキちゃん、みわっち、タカタちゃん
タイトル	市民の足「日本一小牧」！
公共	・ いろんなスポーツができるまち 緑と運動場を増やす ・ 各スポーツの全国区を呼ぶ ・ 雨でもスポーツが気軽に無料でできる施設 ・ スケボー、スポーツクライミング ボールを使って遊べる公園を増やす ・ 名鉄犬山線と名鉄小牧線を縦断する線 ・ コンパクトシティー化する 終電を延長、接続するバスを増やす ・ 名鉄小牧線の電車の本数を増やしてほしい ・ 子育てがしやすいまち 高校、大学を増やす子育ての充実 ・ 子ども手当を上げてほしい ・ もっと学力の高い私立大学、公立、私立高校を作してほしい ・ 静かで安全な住宅地 ニュータウンの造成 ・ 治安のよい街、治安強化、清潔な町 自警団を作る、巡回
民間	・ 釣りができる町 テーマパーク ・ 無料で何か習えるところがあったらそこでお友達も増えるし楽しみがあると思う ・ 映画館 ・ 全国的に有名な地域資産がある ・ 自由に入れる山をつくる 山菜が採れる町 ・ 仕事場が近い 安定した就職先がある ・ 補助金、助成金、税金を下げることによる企業誘致 ・ 住民税を下げる 繁華街、食べどころがいっぱいある町 ・ ニュータウン内にお店、銀行、バスターミナル生活用品店を増やしてほしい ・ IKEA 誘致 大型ショッピングモールの誘致 ・ 若者に人気のあるアパレルブランドや広い世代に人気の飲食店を造る
投票結果	7票

しのおかの桃 グループ	すーやん、すぎちゃん、みいこさん、のり、くに、よしき、タッチャン
タイトル	親子で楽しめる体験づくり 農&食&まつり♪
行政	・空き店舗の活用 地下鉄を引っ張ってくる ・小牧駅に保育施設を造る 外食を増やす 遊べる施設 ・中心部に図書館とオシャレな雑貨店、カフェ、子どもの遊び場が合体 ・大須のような商店街 友達が多い ・若者の興味のある催しものを増やす ・働きやすいまち 高齢者が社会参加できて元気をもらえる場所 ・小牧駅に新図書館を市民の要望を取り入れてつくる ・小牧駅にスタバを誘致 ポイ捨てがないきれいなまち ・地域グループの立ち上げ援助 住みやすい環境 ・歩道が広い 名古屋へのアクセス ・公共交通機関が便利 交通の便が良い 治安が良い ・まちづくりミーティングのような市民が意見を出せる場が月一回行われる ・地域グループの立ち上げ援助
親子	・ホームセンターとベビーグッズと洋服と 100 均と食品など全部がそろっ ショッピングモール ・犬山にあるエイトカフェのような場所がほしい ・小牧市が管理する体験型農場 ・参加型イベント、広報 親子で参加できるイベント ・食育をもっと広める ・地域の子どもが発表する場をつくる ・緑豊かである程度の田舎 ・SNS の活用 農業のイベント ・成功例を真似する 現場の人間の話を聞く ・道の駅を造る ハイウェイオアシス ・子どもが安全に遊べる場所 ・子育てがしやすい
投票結果	8 票

パークアリーナ 小牧グループ	マーシー、直美、ヨーコ、ジュンジュン、たっちゃん、マッちゃん、 アオチャン
タイトル	みんなが楽しめる街小牧
個人	・ 仕事が毎日ある ・ 若い人が働きやすい職場 ・ 大型商業施設 ・ 一日中子どもと過ごせる事
教育	・ 環境を守る教育 ・ 小牧市民が楽しく生活するための講演 ・ 大学まで学費がタダ ・ 落ちこぼれて学校へ行けない子への支援 ・ 親子で考えて行動できる物
官民一体	・ 意見交換ミーティングスペース ・ ワールドサミット コスプレ 和装 ・ 市役所のレストランをもっと宣伝しお花見は午後 9 時まで、土日営業 ・ 信長弁当や家康カードなどを作ったら？ ・ ハロウィンのコスプレで小牧駅から行進
子育て	・ スーパーに子どもをあずけられる場所がある ・ 母親が気軽に相談できるところがある ・ 子育て支援 ・ 保育所が完備され小学生も下校後に行ける施設が充実している ・ 子育て中の若い夫婦には子育てできるだけのお金の援助があると良い
行政	・ 危機感を持つために自治体ごとにシェルターが必要 ・ 小牧の特産品を生産支援 ・ 電車など車以外の交通の便が良い ・ 住む所に対してお金の援助があること ・ スポーツのできる場をまとめる ・ 治安が良い
まとめ	小牧駅⇒小牧山 小牧ハロウィンまつり 親子で楽しめるイベント
投票結果	10 票

市民四季の森 グループ	みっちゃん、よっちゃん、ひでちゃん、のりちゃん、梅さん、クリ、 うめちゃん
タイトル	ハートフル小牧
商業	・ 大型商業施設 ・ ご当地小説、ストーリー公募 ・ 一宮のグルメ通りのようなところをつくる
文化	・ 聖地、劇場 ・ 町全体をアートに変化、街の美観に一部制限をかける ・ 映画を作る ・ いろいろなアトリエ ・ 工房を一か所に集め体験しやすくする
思いやり	・ 人が親切であること バリアフリー化
スポーツ	・ 有名スポーツ選手の輩出 プロサッカーチームの誘致 ・ 小牧一周のサイクリングロード 世界的なスポーツの祭典を行う
交通	・ 朝夕の渋滞がないまち ・ 小牧駅と岩倉駅のバスの本数を増やす ・ 終電を遅くする ・ 大山川沿い側道の有効活用 ・ 公共交通機関が充実したまち
自然	・ ただ自然があるだけではなく整備する ・ 空き地の有効活用（調整区域の緩和） ・ 電柱のないまち ・ 乱開発を防ぐ ・ 小牧山をもっとＰＲする
育児	・ ラピオの有効活用 ・ 子育て施設 子どもの遊ぶ場所の充実 ・ 児童館を多く子育てについての情報発信を多くする
その他	・ 犯罪が少ないまち 交通事故が少ないまち
投票結果	7 票

小牧山グループ	みっちゃん、やまちゃん、きみくん、あーちゃん、オクちゃん、 ゆきちゃん、たーちゃん、よっしー
タイトル	交通の街小牧
	・栄、名古屋、空港まで一本で ・陸の孤島 小牧
人	・安全な所 ・きれいな町 ・清掃活動 ・無料 WIFI
企業	・グルメストリートの設立のための協議会を作る ・酒場をかためる ・便利なところ ・子どもが遊べる場 ・おしゃれなカフェ ・駅に健康施設を集約する ・不用自転車を市に提供する ・夜でも遊べる眠らない街 ・ショッピングセンターがある ・子育てボランティアの活用
行政	・交通の便を良くする ・地下鉄、ＪＲを小牧にも！！ ・自転車が走りやすい道路 ・巡回バス、市民病院、温水プール ・焼却炉の温度を上げて公共のスーパー銭湯 ・ごみの分別を細かくしない ・保育園が充実している
投票結果	8 票

信長グループ	きみちゃん、桑っち、イトさん、ゆっこちゃん、みっちゃん、ワッキー
タイトル	若者が住みたい街こまき
市政	・コミュニティーバス車両をコンパクトに時間の間隔を短く、増やす ・交通渋滞を解決する ・交通の便を良くする ・教育費を無料にする ・子育てしやすいまちにする ・子ども政策をもっと手厚く ・誕生日にお小遣いがもらえるようにする ・安全なまちを目指す ・防犯対策の充実 ・市統一の防犯プレートを作成し配布する ・交番を造る
市民	・人に優しいまち ・町内単位で行事のあるまち ・近所づきあいのあるまち ・コミュニティが充実し、子どもの遊び場があるまち ・多世代の交流 ・楽しい祭り ・ラジオ体操などの集まりの場 ・自然豊かで暮らしやすく、きれい
企業	・外資系の商業施設（コストコや IKEA)が来る ・MOZO みたいなショッピングモールを造る ・カフェを増やす ・物産品がもっと有名になる ・全国的に有名なものがある ・おいしいものがたくさんある
まとめ	【子育てしやすいまち】 ・誕生日におこづかいがもらえる制度 ・小牧に住み続けるほど UP!!
投票結果	9 票

田県神社 グループ	キタさん、つつちー、ちょここ、エビちゃん、ちゅん、みわっち
タイトル	未来予想図
食	・ 飲食街の特区制度 ・ 朝までやっている居酒屋 ・ 飲食店の多い街 ・ 商店街の充実 ・ 商店街の空き家を次世代に渡す ・ スタバをつくる ・ 駅前開発 ・ 駅前を充実させ、それぞれ特徴をもたせる ・ おしゃれな飲食店 ・ 24 時間営業の店
施設	・ 福祉施設の充実スポーツ施設 ・ 良い病院がある ・ 夜中に遊べる施設、24 時間使える施設 ・ 子育ての環境が整っている ・ 雨の日でも遊べる公園みたいな場所 ・ 小牧山を活用し、歴史（過去）と現在を調和できる場所へ
インフラ	・ 東西の交通の便 公共交通機関の充実 ・ 名鉄小牧線を名古屋駅まで直通
イベント	・ 四季折々のイベントがある ・ 小牧色のイベント ・ 出会い、街コン 運動会 町内会単位くらいでのイベント
その他	・ 補助金 ・ 街頭のLED化 ・ 治安のよい街 ・ 名物のあるまち
まとめ	名鉄小牧線の未来予想図
投票結果	5 票

名古屋コーチン グループ	もっち、ひょうちゃん、まこと、くまちゃん、イノケン、イ〜さん、 山ちゃん
タイトル	のんべえ小牧
	・ 空港の行先を増やす ・ バスの定額券 ・ 交通渋滞がない ・ 近くのまちと連携 ・ 人生設計を提案 ・ 愛知県一番のイルミネーション花火大会 ・ 企業説明会 ・ 市民病院の充実、市内循環バスを増やす ・ 名古屋へ一本で行けるようにして欲しい ・ 待機児童を安定させる ・ 市の助成金を増やす ・ イルミネーション花火 ・ 企業の駐車場でビアガーデン ・ 大型ショッピングモール ・ 地域でバーベキュー大会
まとめ	・ 気軽に行けて楽しめる店を増やす（ビアガーデン） ・ 夜遅くや週末の交通の便を増やす ・ 送迎の充実
投票結果	6 票

(2) 投票結果

順位	グループ名	得票数
1 位	パークアリーナ小牧	1 0 票
2 位	信長	9 票
3 位	しのおかの桃	8 票
3 位	小牧山	8 票
5 位	MRJ	7 票
5 位	市民四季の森	7 票
7 位	名古屋コーチン	6 票
8 位	田県神社	5 票

5 話し合いの結果（テーマ2）

テーマ2：世代間のつながりを持つには

テーマ2では世代間のつながりを持つにはどんな場所でどのようなことをすると世代を超えたつながりを深めることが出来るかを討議していただきました。

（1）話し合いの概要

MRJグループ	ふみくん、キング、きみちゃん、としくん、奥ちゃん、みっちゃん、あおちゃん、クリ
タイトル	まつり～世代を超えた体験の共有～
コミュニケーション	・ご飯を一緒に食べる ・顔を合わす機会を増やす ・バーベキュー ・小牧山 ・イルミネーションが飾られる通り（冬限定） ・会話を多くする
体験	・銭湯体験 ・ビブリオバトル ・オンライン文芸 ・合唱団、演劇サークル ・田植え、稲刈り、餅つき ・SNS（人が人を呼ぶシステム） ・ラジオ体操 ・区民運動会
まつり	・田県神社まつり ・桃花台まつり ・市民まつり ・餅つき大会 ・盆踊り
その他	・学校の体育館 ・地区でのボランティア活動
投票結果	6票

しのおかの桃グループ	ちょここ、直美、すーやん、タツちゃん、なっちゃん、みわっち、たーちゃん、ひで
タイトル	みんなが先生、みんなが生徒
	・ 公民館、児童館 ・ ボードゲーム大会 ・ 遊びの伝承 ・ 得意技教室 ・ 若い世代がパソコン、携帯の使い方を指導
	・ 農業祭、農業体験 ・ 田植え体験 ・ 家庭菜園 ・ 田んぼどろんこ祭り
	・ プール ・ 街コン ・ 市民四季の森でバーベキュー大会 ・ ごみゼロ運動 ・ 公園対抗ゴミ拾い ・ 公園で社交ダンス ・ 公園にキッチンカーたくさん、ビアガーデン、マルシェ ・ 花火
	・ ハイウェイオアシス、道の駅 ・ 飲食自由な図書館 ・ 駅前に屋台村のような夜のイベント ・ 市民四季の森から小牧山までのウォーキング ・ 市民ゴルフ大会 ・ 草野球
投票結果	5 票

パークアリーナ小牧 グループ	山ちゃん、くまちゃん、すぎしん、ゆうすけ、松ちゃん、みっちー、 たかたちゃん
タイトル	小牧ギネスチャレンジ！！拡大迷路、世界最大のこいのぼり、 ビッグファミリーウォーキングイベント
施設	・温水プール ・プラネタリウム ・ギネス級の鯉のぼり ・巨大迷路 I N小牧山 ・内容についてアンケートをしっかりと定期的に通達する
イベント	・宝探しウォーキングラリー ・パークアリーナ小牧に運動イベント誘致 ・キッズニア、職業体験 ・小牧山紅葉会 ・大山川清掃からの散策の旅、バーベキュー、釣り大会 ・お年寄りにも参画できる子ども会 ・温水プールから見える花火大会 ・企業を含めたまつり大会
投票結果	9 票

市民四季の森 グループ	ひょーちゃん、のりちゃん、りん、きみくん、クニオ、くに、 ゆっこちゃん
タイトル	小牧山で3世代交流
公助	・若い人、年齢のいった人が同じ場所に集まり話し合う場を作る ・高齢者の見守り時に小学生も同行する ・困ったときのお助け隊、子育て育児など高齢者がボランティアで ・防災パトロール ・イルミネーション
祭り	・音楽祭、スポーツ祭、音楽フェス、食祭 ・小牧山
イベント	・スポーツ大会、バーベキュー、バザー ・区民美術展 ・地域のお祭り、盆踊り大会 ・餅つき大会
地域	・児童館 ・地域の会館 ・スーパー、コンビニ、喫茶店 ・地域の会館で3世代交流会を定期的に行う ・地区対抗型イベント 勝った地区には優先的に予算をつける
	・小中学校の運動会、文化祭 ・ふれあい生き生きサロン ・夏のラジオ体操に父兄、老人会も参加する
	・運営側に負担をかけすぎない ・どの世代でも楽しめる内容 ・情報提供、SNSなど
投票結果	6票

小牧山グループ	キタさん、ワキちゃん、梅さん、ヨッシー、コーイチ、くわっち、もっち、うめちゃん
タイトル	趣味が生かせるまち小牧
まつり	・小牧市民まつり ・年代別綱引き ・大掃除のあとのバーベキュー ・お祭り、地域のイベント ・神社教室 ・有名アーティストを招く ・名古屋コーチン大試食会 ・盆踊り ・仮装行列 ・地元主婦の手作り屋台 ・市民討議会を地域ごとに実施する ・趣味等を生かしたイベント
老若男女	・市役所でフリマ、市場 ・市役所でサバイバルゲーム ・スーパー銭湯 ・体操 ・駅でボランティアで三味線、マジックなどを見せる ・ホールでカラオケ大会 ・小牧山で映画会、芋煮会、マラソン大会、温泉掘り当て大会 ・絵本コンテスト ・町内大掃除
若い	・工場見学 ・お父さん、お母さんの会社見学 ・MRJ工場見学会
その他	・手芸即売会 ・小牧戦国少女隊ライブ ・手芸即売会
投票結果	9 票

信長グループ	ワッキー、エビちゃん、のり、ヨーコ、サトちゃん、ちゅん、 よっちゃん、ゆきちゃん
タイトル	希望の物づくり体験
イベント	・ 町内会祭り ・ 道路をふさぐようなまつり、例えば自治会ごとの対戦 ・ 四季の森でかくれんぼ ・ 行政経営で駄菓子屋 ・ B級グルメ祭りのようなラーメンのまつり ・ たいこ 昔のあそびまつり ・ 懐かしいゲーム大会 ・ 3世代交流を地域で行う ・ 大きな会場で地場産業を体験できる祭り ・ 産業参加での体験会 ・ 名古屋コーチン試食、ワイン試飲 ・ 小牧工場見学ツアー ・ ものづくり体験 ・ 就業体験 ・ 米作り、野菜作り体験 ・ ボランティア活動、地域での清掃活動 ・ 学校の運動会 ・ スポーツ大会（プロ、アマ） ・ 市民討議会 ・ 街コン
インフラ	・ スポーツジム市民プール、温水プール ・ 小牧山 ・ 市民センター開催のイベント 図書館 ・ 小牧駅 ・ スーパー ・ 温泉
投票結果	7 票

田県神社グループ	やまちゃん、イトさん、ヨッシー！！みいこ、イノケン、まこと、マーシー
タイトル	四季の森で体験遊び小牧
場所	・児童館 ヒーローショー ・パークアリーナから四季の森までウォーキング大会、運動会 ・お菓子まき フェスの誘致 プール ・大山神社の公演 図書館 田県神社まつり ・小牧駅で音楽祭を行なう ・クワガタやカブトムシが当たるくじ ・山歩きの会 ・ちごの森に興味はあるけど遠くていきづらいイメージなので解消・できそうな方法を考える ・大型スーパーは人が集まりやすいので地域を一体化したイベントを考える ・小牧山で地域別対抗のカラオケ大会を行う ・小牧山武将パレード、全国武将まつり、花見 ・小牧山で自然に触れられるイベントがあるとよい
企画	・四季の森内で市民まつりを実施 ・四季の森は広くて集まりやすいので四季の森で農業まつりをする
イベント	・小牧市民まつり、産業フェスタ、平成夏まつり ・地域密着のおまつり、朝市、フリーマーケット ・名古屋コーチンを広めるイベント、全国に出店する ・子ども会への不参加が多いので見直す ・地区会館にてカラオケ大会をする ・不登校の会 参加しやすいまつりをする ・地域行事を行う時に年齢に隔たりなく運営してもらう ・小牧こども食堂 清掃活動に親子で参加する ・城見市 芋ほり、田植えなど 顔を合わせる場を多く作る ・高齢者のためのイベント 大学生ボランティア、ボランティア活動の参加
投票結果	6 票

名古屋コーチン グループ	オクちゃん、い～さん、つつちー、すぎちゃん、たっちゃん、 じゅんじゅん、丸ちゃん、みっちゃん
タイトル	がんばれ！ぼくらの名古屋コーチンレース
企業	・ インテリアコンクール ・ 動物園、植物園、動物とのふれあい
個人	・ 釣り場、釣り大会 ・ ボーリング大会
行政	・ 大山川にアユを放流し釣る ・ 小牧山でニワトリレース！！ ・ 子ども相撲大会 ・ 小牧山でB級グルメフェスタ ・ 大山川から伊勢湾へいかだ下り ・ スポーツ交流会 ・ 学習支援 ・ 公園にてバーベキュー、ふれあい ・ 木の実をひろい昔のものをつくる
地域	・ ふれあい会食会 ・ 子ども会のイベント ・ ホタル、花見、いもほり、餅つき大会、夏祭り、ビアガーデン、 ひな祭り、的あて ・ 3世代イベント、グランドゴルフなど ・ 運動会、ウォーキング大会 ・ 掃除、夜回り ・ 親子で漫才大会 ・ バーベキュー大会
投票結果	12 票

(2) 得票結果

順位	グループ名	得票数
1 位	名古屋コーチン	1 2 票
2 位	パークアリーナ小牧	9 票
2 位	小牧山	9 票
4 位	信長	7 票
5 位	MRJ	6 票
5 位	市民四季の森	6 票
5 位	田県神社	6 票
8 位	しのおかの桃	5 票

6 意見のまとめ・取扱い等について

今回の市民討議会では参加していただいた市民の皆様にもまちづくりへの関心を更に高めていただくと共に、市民同士がよりよいまちづくりのために何ができるかを主体的に考え意見を交換し、様々な意見の中から自分達ができることを導き出すことで、まちを想う気持ちを高めることを目的として、「I♥こまき We♥こまき」をキャッチフレーズとして、テーマ1：「若者が住みたいまち小牧」を午前のテーマ、テーマ2：「世代間のつながりを持つには」を午後のテーマとして、それぞれ討議を行っていただきました。

テーマ1では、「若者に人気の有名店を誘致する」「働きやすい企業が近くにある」など企業に関することや、「インフラの整備」「子育て環境の充実」などの公助に関するだけでなく、「清潔なまちを維持するための清掃活動」「近所づきあいや地域コミュニティがあるまち」といった意見や、「グルメストリート設立のための協議会を作る」などといったユニークな意見も出されました。

テーマ2では、「地区対抗カラオケ大会」や「名古屋コーチンレース」の開催といったイベント開催に関する意見や、「小牧山で3世代交流スポーツ」「四季の森で体験遊び」といった今ある施設を使って幅広い世代の人たちが楽しく交流できるような企画などが出されました。

地域から離れつつある若者を受け入れ取り込んでいくには、企業や行政の取り組みも重要な要素ですが、それだけでは十分ではありません。今回出た意見等をまとめた実施報告書を行政に提出し、市政運営の参考としていただくとともに、よりよいまちづくりの一步としていきたいと考えています。また、小牧青年会議所では、若者たちに目を向け、彼らが何を求めているかそして、世代を超えて若者からお年寄りまで共に活躍できるまちにしていくにはどうしていけばよいかを改めて考え、今後、今回テーマ2で市民の皆さんからいただいた意見を今後の事業展開の参考にさせていただき、今以上に市民と一体となって笑顔溢れる小牧を創造できるよう努めていきたいと考えています。

7 今回の反省と今後への課題

討議会終了後に反省会を一般社団法人小牧青年会議所、小牧市協働推進課、実行委員で行い、その結果下記のような意見が実行委員から出ました。

反省会 平成29年11月27日（月）

実行委員会・事前準備等について

- ・実行委員会が十分に機能していなかった。
- ・実行委員会では大切なことが話し合えなかった。
- ・実行委員会は最初どうなるかと思ったが最後のほうには雰囲気もよくなってきてよかった。
- ・メインファシのリハーサル（打ち合わせ）を来年以降はやりたい。
- ・メインファシについて練習不足でうまく進められなかった。自分自身は楽しくできた。
- ・JCメンバーが多すぎるので全体で初参加者を7割にしたらどうか。

討論会本番について

- ・自分の担当したグループは全員優秀な方々だった。
- ・討議の際、途中でグループのメンバーが頭を抱えてしまう場面があった。
- ・もう少し自分がまとめ役に入った方がよかったと思う。
- ・自分のグループは進行役がうまくまとめられなかったなので、進行役をどう決めるかは考え直す必要がある。
- ・当日は順調に行った。
- ・来年はもっと若い人が参加してくれればと思う。
- ・今後は小牧に住む外国人の意見も聞いてみたい。

参加者へのアンケート結果を中心に、今回の市民討議会の考察と、今後への課題をまとめました。
(アンケート結果の詳細については後述)

(1)無作為抽出による参加者募集について

市民討議会の参加者募集については、共催である小牧市の協力のもと、18 歳以上の小牧市民 2,000 人(平成 29 年 7 月 31 日時点)を無作為抽出し、参加案内を発送しました。(※参加案内の発送に係る個人情報については市において適切に管理されています。)

募集の結果、2.4%にあたる 47 人から参加承諾があり、その後抽選によって定員である 40 人を決定し、その内 6 人の参加辞退があったため当日は 34 人の参加となりました。

当初の参加承諾者 47 人を年代別で区分すると、40 代 60 代が多く、男女比については、男性 26 人女性 21 人と男性のほうが多い結果となりました。今回「若者」にポイントを置いていたため、完全無作為を 1,800 人、残り 200 人のうち、100 人を 10 代、残りの 100 人を 20 代から無作為抽出を行い、若者の参加者数を増やす努力を行いましたが、10 代は無作為抽出者 157 人に対して 1 人の参加承諾者(承諾率 0.6%)、20 代は無作為抽出者 373 人に対して 4 人(承諾率 1.1%)という結果となりました。次代を担う若者の参加を促すには、更なる工夫が必要だと感じました。

無作為抽出という方法については、参加者の事後アンケートによると、9 割程度の方が「無作為抽出の方法は良い」または「無作為抽出と公募の混合が良い」との回答をしており、今後も基本的には無作為抽出を継続していくことが望ましいと考えられます。

(2)「楽しい市民討議会」の手法について

参加者の事後アンケートによると、参加に対する率直な感想について、「楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計で 97%と参加者のほとんどの方に楽しんでいただくことができました。

また、「世代間交流の重要性を感じ、今後交流活動に参加もしくは企画しようと思いましたか」という質問について、56%の方が「思った」とご回答いただき、市民討議会を通じて、半数以上の方が日ごろ取り組むことが難しい世代間交流の重要性を感じ、なんらかの行動する意識を持っていたく一助となるということが言えるのではないかと考えます。

「今後も開催するべきだと思いますか」という質問について、「開催した方がよい」が 94%と、この事業の有用性・将来性を参加者自身が感じていることが見受けられます。

(3)謝礼について

まちづくりへの参加意欲が低い層に訴求する重要な要素として、1 人あたり 2,500 円の参加謝礼を一般社団法人小牧青年会議所からお支払いしました。(※この謝礼に対し、市の補助金は交付されておりません。)

また、当日は昼食を用意し、各グループにて一緒に食事をしていただくことで交友を深めていただきました。討議の最中の緊張感とは違った雰囲気での話しをしていただく機会となり、91%の方が「よかった」と感じていただけました。

謝礼について、参加者の事後アンケートでは 88%の方がちょうど良い、多い、その他(必要ない)と回答をされています。無関心層への訴求という意味で謝礼は重要な意味を持ちますが、例年(3,000 円)と比べると少ない謝礼での参加率の低下はほとんどなく、影響は少なかったと考えら

れます。しかし、謝礼の有無、金額等については慎重に検討していく必要があると思われます。

(4)運営体制について

本年度設立した実行委員会の皆様に企画から当日の運営まで担っていただきました。

実行委員会の構成メンバーは昨年度の討議会でスタッフとしてご協力いただいた方10人と一般参加者として参加いただいた方4人の合計14人の方で組織していただきました。

また、実行委員会の補完組織として市、青年会議所、正副実行委員長で構成する三者会を設置し、実行委員会をバックアップ致しました。

第1回から第6回の実行委員会では、改めて市民討議会の趣旨、目的を共有し、テーマの候補出し、選定やアイスブレイクの方法など企画、役割分担等を決めていただきました。今回、司会者、メインファシリテーターは女性にお願い致しました。当日は素敵な衣装を身にまとい、会場の和やかな雰囲気づくりに一役買っていただきました。

また、テーブルファシリテーターの皆さんはお揃いのハロウィンTシャツを着て、各グループ内での話し合いやまとめ作業がスムーズに行えるようサポートしていただきました。

司会者、メインファシリテーター、テーブルファシリテーターなど、当日の運営を実行委員の皆さんに行っていただき、青年会議所、協働推進課はバックアップに回することで、市民によるまちづくりのイメージを今まで以上により強調し、市民が作り上げているという意識を醸成させることでまちづくりへの市民参画の意識をより高めることができたと感じています。参加者の事後アンケートでも「メインファシリテーターの説明や進行は分りやすかったですか」という質問について、88%の方が分りやすかったと回答いただき、事前の勉強会や、今までの経験によって、ファシリテーターの技量の向上が図られ、質の高い進行が行えたと感じています。

実行委員の皆さんには平日の仕事終わりのお疲れのところ6回にも渡る実行委員会にご参加いただき、ご負担になっていないかと心配になることもありましたが、反省会の際には、もっと準備期間を確保したかったなど、実行委員の皆さんの討議会に対する熱い思いを感じました。実行委員の皆さんには、当日の昼食を提供させていただく以外はボランティアでやっていただいております。

「実行委員への謝礼について」、実行委員アンケートの結果では、「今のままで良い」が86%、「謝礼があった方が良い」が14%であり、謝礼は必要ないという意見が多い一方で、「謝礼があった方が新たにお手伝いいただける世代の幅が広がるのでは」という意見もありました。今後は多くの方に市民討議会に携わっていただきたいと考えていますが、妥当な金額の選定も含めて慎重に検討していくべき内容だと考えております。

(5)今後の市民討議会のあり方について

市内全域から無作為抽出により参加者を募り、若者を中心とした世代間のつながりをテーマとして取り上げた今回の討議会は、皆様の協力もあり一定の成果を挙げたものと考えています。

3年前から取り入れた会場の雰囲気づくりや、司会、ファシリテーターを市民の方に行っていた点についても、参加者に好評をいただくことができました。特に司会やファシリテーターを市民の方に行っていただいたことで、自分たちのまちを自分たちで良くしていこうという住民自治の意識向上へとつながり、大きな成果を得ることができたと実感しております。また、運営方法と

して本年度立ち上げをさせていただいた「こまき市民討議会実行委員会」につきましても、例年よりも早期にそしてしっかりと準備段階から携わっていただくことができ、さらにこの市民討議会が市民の皆様の手によって行うことができるという実感を持っていただくことができたのではないかと考えております。

一方で、若者を中心としたテーマであったにもかかわらず若者の参加率の低かったこと等、今後とも議論をしていく必要があると思われます。特に実行委員会については、さらなる住民自治の意識向上へとつなげるためにも、自立した実行委員会となることがこの討議会の継続可能性を高めていくこととなると考えています。

8 こまき市民討議会を終えて

一般社団法人小牧青年会議所 グローカルマインド共育委員会委員長 渡邊 哲基

今年のコまき市民討議会まちづくりミーティング 2017 につきまして、こまき市民討議会実行委員会委員長 高橋和徳さん、同副委員長 伊波守さん、同副委員長 高橋真紀さんそして、メインファシリテーターを務めて頂いた清水香織さん、深山麻衣さんはじめ 14 人の実行委員の皆様や、小牧市協働推進課の皆様のご支援、ご協力を持ちまして無事開催することが出来ました。5 月に行いました第 1 回実行委員会から討議会当日まで実行委員、参加市民の皆様に対しては、至らぬ点があったかと思います。しかし、少なくとも参加市民、実行委員の皆様には、「まちづくり」というものを身近に感じていただき、こんな形でも「まちづくり」に参加することができるのだと感じていただけたのではないかと思います。

今年は今後の市民討議会の運営を担うべく、実行委員会の設立より更なる住民自治意識の醸成を目指し、今まで市民討議会にスタッフとして参加したことのある市民の方々と、昨年は参加市民であった方にお声掛けし、こまき市民討議会実行委員会を設立しました。計 6 回の実行委員会を通じ、準備・企画から当日の運営に至るまで行政、我々青年会議所との協働で行いました。我々も初めての実行委員会ということで不慣れなため、運営に携わっていただいた実行委員の方々には困らせてしまうことや、急な変更などもあり、大変ご迷惑をかけてしまうこともありました。事前の準備不足や、実行委員の方々と共有する時間がまだまだ足りなかったと実感しております。しかし当日の活発な討議や皆様の笑顔を見る中で、今後の市民討議会の新たな形を垣間見ることができたのではないかと思います。

この先、こまき市民討議会が、小牧をもっと良くしたい、という意識の高いたくさんの市民の方にとって、さらに一步踏み込んだ行動を起こし、次の波紋を広げて行くきっかけになればと思います。そしてその波紋を小牧市全体に広げることで、市民討議会を通じて市に対して提言という形で発言が出来るような、更に質の高い市民討議会になって欲しいと願っております。

最後になりますが、無作為抽出により今回ご参加いただきました皆様、顔合わせから当日、振り返りまでご協力いただきました実行委員の皆様、毎回遅い時間までお付き合いいただきました協働推進課の皆様、本当にありがとうございました。これからもこの討議会での出会い、つながりを大切にいただけたらと思います。

今でも近くにあるのに、見えていそうで見つけることができていない「人と人との心のつながり」が溢れる温かいまちになり、小牧がどこのまちにも負けない、素晴らしい魅力があるまちになることを願い、今後もまちづくり運動に精進して参ります。

こまき市民討議会実行委員会 実行委員長 高橋 和徳

4 年前に、小牧市役所から届いた茶封筒を開けた時から、「まちづくり討議会」と関わることになり、今回で 5 回目の参加になります。2 年前には、討議会の運営や進行のスペシャリスト、釘山講師から、参加者の個性を捉えた会議の運び方なども学びました。

さて今回は、実行委員会形式をとり、実行委員長を仰せつかったので、最初の段階から関わる事となりました。何回もの会議を重ねて、当日を迎えました。各スタッフはテーブルでの役割をしっかりとこなしていたと思います。特にメイン、サブの司会が女性陣ということで、全体的に柔らかい雰囲気が作れたと思います。会場に入ると、派手な飾り付けやスタッフのコスチューム、テーブルに飲み物やお菓子など、初参加の人は面食らったのではないかと思います。それでもアイスブレイクで徐々に打ち解けて、各テーブル活発な討議が出来たと思います。今後は、大テーマ「まちづくり」の観点からすると、幅広く人材を拾って(年代、地域、外国人など)討議会ができると良いのではと思いました。

最後に、小牧青年会議所や協働推進課のみなさんには、時間外での打合せや準備とたいへんお疲れ様でした。今後とも、「まちづくり討議会」やその他の市民参加型の取り組みが、活発に行われていくことを願って、私の感想とさせていただきます。ありがとうございました。



▲メインファシリテーターを務めた深山さん(左)、清水さん(中央)、司会を務めた高橋さん(右)



▲討議の様子

こまき市民討議会実行委員会 実行委員 メインファシリテーター担当 清水 香織

私は、市民討議会のスタッフとして4回目の参加となりました。

そして、今回は、実行委員としてメインファシリテーターで参加させていただきとても良い経験をさせていただいたことに感謝しています。

最初は、打ち合わせも思うように進まず、正直不安しかない時間で過ぎて行きました。

でも、渡邊委員長をはじめ、小牧青年会議所の方々、実行委員の皆で何度も何度も悩みながらも真剣に、時には楽しく、話し合いを進め、無事に終える事ができた時は感無量でした。

私のメインファシリテーターについては、話し方の練習不足やテーブルファシリテーターの方々との連携不足など反省点が多々ありました。でも、テーブル内から一歩外の立場から討議会の全体を見ることができ、はじめて私たちのような一般市民からのスタッフの必要性やこまき市民討議会を行う意味など色々見えてくることもあり、たくさんのことを学ぶことができたように思います。

グループ内も活発な意見が飛び交い、参加者の方々も楽しく・明るく・元気よく話し合いができていたと思います。

ただ、いつもの課題ですが、もう少し若者の参加者が増えてくると幅広い発想の意見が出て面白い市民討議会になると思います。

討議会が終わった後に、参加の方から「楽しかったよ。良かったよ。今日はありがとう。」と声をかけていただき、この市民討議会に携わって来られたことが本当によかったと感じた瞬間でした。

皆に助けられ、有意義な楽しい1日を過ごすことができました。皆との出会い市民討議会での経験は私の人生の宝物になりました。

本当にありがとうございました。

話し合いの様子



9 会場の様子

会場全体



一般社団法人小牧青年会議所 理事長 金和未穂よりあいさつ



皆様おはようございます。只今、ご紹介に預かりました一般社団法人小牧青年会議所、本年度理事長を務めております金和未穂と申します。どうぞ宜しくお願い致します。本日は日曜日の貴重なお時間の中、そしてお足元の悪い中、『こまき市民討議会まちづくりミーティング2017』にご参加をいただき、そして我々の趣旨にご賛同いただきましたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。誠に

ありがとうございます。また、この会に関しましてご尽力いただきました市民討議会実行委員のスタッフの皆様、そして小牧市役所協働推進課の皆様、そして一般社団法人小牧青年会議所グローバルマインド共育委員会渡邉委員長をはじめとしますメンバーの皆様、本当に長きに渡り会に会を重ねられて本日のこの会のご準備ご設営をいただきましたこともこの場を借りて厚く感謝申し上げます。ありがとうございます。

ここで皆さんの貴重な時間を頂戴しまして一般社団法人小牧青年会議所について少しお話をさせていただきます。一般社団法人小牧青年会議所という団体は、「明るい豊かな社会の実現」を理念とし自己の修練、社会の奉仕、世界との友情の三信条のもと、20歳から40歳までの青年男女で構成されているまちづくり団体でございます。このまちづくり団体である私達が市民討議会をスタートしたのが2012年、今回で6回目となります。今回6回目となる市民討議会において一つ前進したことがございます。実は初めて市民スタッフの人たちを交え実行委員会を立ち上げることが出来ました。これはまちづくりにおいて非常に大きな一歩となったと感じております。このまちづくりというのは行政のみならず、私達まちづくり団体、小牧青年会議所だけでは成しえ

ない事ことがたくさんあります。だからこそ、自ら住み暮らす市民一人ひとりがしっかりと夢を描きこれからのまちづくりに対して想いを寄せていくことがまちづくりに対して大きな一歩となるのではないかと思います。この市民討議会の変わらないテーマ「気軽に楽しく中身濃く」というテーマはこの会場のハロウィンと同様にまちづくりって楽しいと思っていただける様にそして皆さんが気軽に楽しく参加できることが大切だと思っております。

結びとなりますが、本日のこの会におきまして皆さん一人ひとりがまちづくりに対してしっかりと心を寄せ大切な人そして繋がりを持つ全ての皆様にまちづくりは楽しいということを今回の参加を通してお伝えしていただく事で、明るい豊かな小牧の実現に繋がってくると思いますので本日長丁場となりますが皆さん楽しんでこの会を運営してまいりましょう。宜しくお願い致します。

山下史守朗小牧市長よりあいさつ



早朝より多くの方にお集まりいただきありがとうございます。非常に明るい雰囲気ではまさにハロウィン一色という感じで、初めて参加された方はびっくりされていると思いますが、市民討議会は「明るい楽しい雰囲気でお牧のことをみんなで語ろうじゃないか」という趣旨であります。気軽な雰囲気でお話合ってもらおうと実行委員会や、小牧青年会議所が努力していただいています。近年は自治会の加入率

の低下や、少子高齢化や人口減少など、向こう三軒両隣と言われた時代から個人主義となり、隣に誰が住んでいるかも分からないという人もいるような状況もあります。そういったことに対応するために、行政も行革していますが、市民ニーズの多様化により行政に求められることはますます増えています。そのため、行政ができることには限りがあり、我々のまちをより住みやすく、また歳をとっても安心して暮らせるためには、市民の支え合い、助け合いが大切となります。行政も頑張りますが、市民の方々にご協力いただかないと進んでいかないと考えます。まちづくりは市民全員でやらないといけないという思いを強く持っています。

市民の方々の声を聞く手法としてタウンミーティングなどしていますが、限られた方の参加となることが多い状況です。しかし、市民討議会では、無作為抽出により、今までまちづくりに参加したことのないような方に参加していただいています。そういった方々が、討議会参加後に更なるまちづくりに参加していただけるとありがたいですし、過去の参加者の方で実行委員会を立ち上げていただけたことは非常にうれしいことです。少しでもまちづくりへの関心を持っていただければと思います。また、少しでも小牧が将来に向けて住みたいまち、活力のあるまちとなるよう、行政も様々な努力を行いますので、皆様のお力もお貸ししたいと考えます。

結びとなりますが、本日参加いただいたことが、皆様にとって実り多いものとなる事を心から祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

発表の様子



投票の様子



参加者の皆様ありがとうございました！